

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理療法		(発) 必修 (社.精) 選択	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾	B305	atakiguchi		木曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;心理療法を行うために必要とされる様々な理論や技法について、基本的な知識を学ぶことを目的とする。また臨床において必要とされる技術を理解し、説明できることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;代表的な心理療法について講義したものを、ロールプレイやグループワークを通して具体的な技法について学び理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	講義中に生じた疑問はそのままにせず積極的に質問し学びを深めて欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	基礎から学ぶ心理療法/編:矢澤美香子/ナカニシヤ出版				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理療法について理論や技法について説明することができる。			HSU (2)、WP (1)、(5)	
②	心理療法の基本的な姿勢を身に付けられる。			HSU (1)、(2)、WP (5)	
③	心理療法の技法について説明できる。			HSU (2)、WP (5)、(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 心理療法とは何かについて学ぶ。	講義・演習	授業内容を復習する	2	
2	心理療法の技法を知る。面接技術について学ぶ。	講義・GW	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
3	クライアント中心療法の理論と技法について学ぶ。	講義・GW	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
4	精神分析学の理論と技法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
5	行動療法、認知行動療法の理論と技法について学ぶ。①	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
6	行動療法、認知行動療法の理論と技法について学ぶ。②	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
7	遊戯療法の理論と技法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
8	芸術療法の理論と技法について学ぶ。	講義・GW	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
9	ゲシュタルト療法、フォーカシングの理論と技法について学ぶ。	講義・GW	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
10	日本発祥の心理療法 (森田療法、内観療法、臨床動作法) の理論と技法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
11	ブリーフセラピーの理論と技法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
12	ナラティブセラピーと心理劇の理論と技法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
13	家族療法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
14	集団療法やエンカウンターグループの理論と技法について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
15	1~14 回の各心理療法の理論と技法について総括を行う。	講義・演習	これまでの授業内容を復習する。	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	30	0	30	
総合力指標	知識・技術力	0	10	5	0	5	20
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	5	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	5	0	5	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業内で伝える。授業で体験したことを踏まえながら、出題意図に沿った内容となっているか、文章の構成等について評価する。				コメントを付し返却する。全体講評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		ロールプレイやグループワークへの積極的参加度、取組みの姿勢を総合的に評価する。				ロールプレイ及びグループワーク時に個々にコメントを行い、実施後講評及び解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回講義後にリアクションペーパーの提出を求める。ロールプレイ及びグループワークを実施した体験の振り返りから考えたことや疑問に思ったことなどについて記述してもらう。				毎回授業の最初に前回の授業の振り返りを行い、質問に回答する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</li> <li>・なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</li> </ul>					